

GIGAスクール構想における

本町小の取組 その2

小金井市立本町小学校

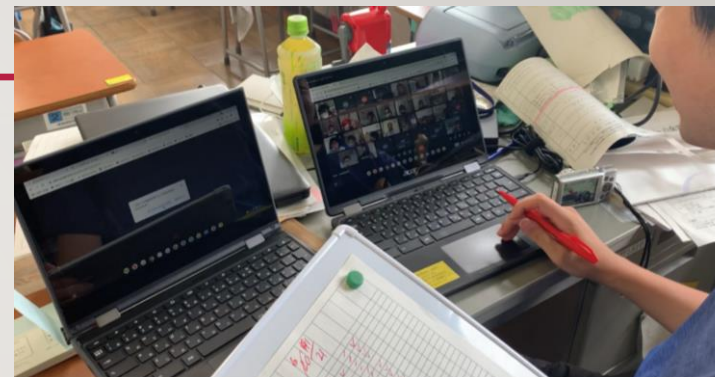
授業における活用例

オンライン授業

登校できない期間は、オンラインで学習を進めました。

Google Meetを使って互いの顔を確認しながら、共有されたスクールタクトの画面を黒板代わりにして学習しました。

朝の会でみんなと一緒に校歌を歌ったことや、ラジオ体操をしたことも、今となってはよい思い出です。



授業における活用例

個別最適化された学び



算数の学習で、単元のまとめの時間。練習問題に取り組む子供たちが、それぞれのペースでChromebookを覗きながら学習を進めています。

担任が、スクールタクトを使って問題のヒントを配信しているので、それぞれの子供が、自分の困ったところで必要に応じてヒントを確認しながら練習問題に取り組んでいます。

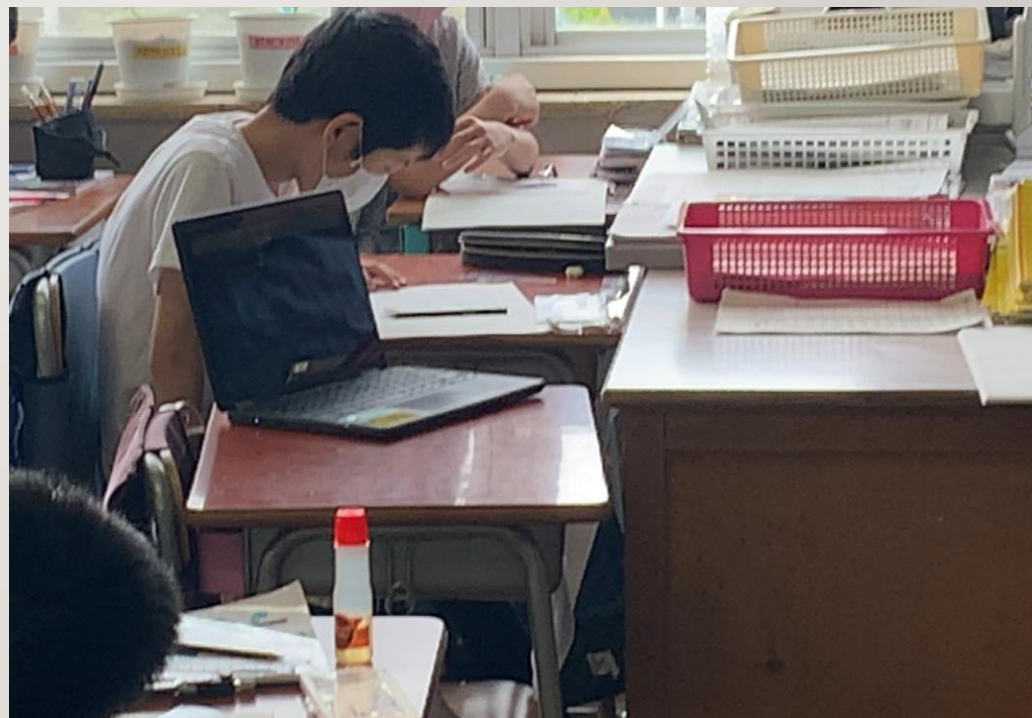
一人一人の理解状況に合わせた支援をすることで、個別最適化された学びを行い、誰一人取り残されることがないように学習を進めています。

授業における活用例

オンライン授業 2

長い期間学校を休まなければいけなくなった時には、教室と自宅を**Google Meet**で繋いで、先生と黒板の様子を見ながら学習をしました。

慣れてくると、クラスの子供たちが映るように**Chrome Book**の向きを変えて、話し合い活動に参加することもできるようになりました。



授業における活用例

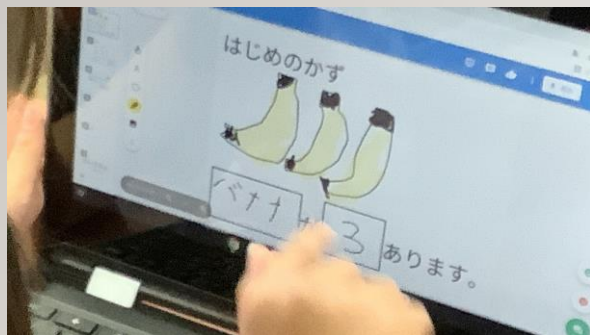
個別最適化された学び その2

学びポケットにある **eboard** を使って、理解が不十分だと感じる部分について、もう一度やり方を確認しています。理解できるまで繰り返して見たり、一時停止をして考える時間を取れたりできるので、自分のペースで復習をすることができます。



授業における活用例

「ひきざんのおはなし」づくり

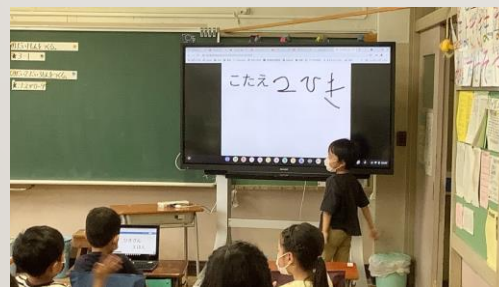
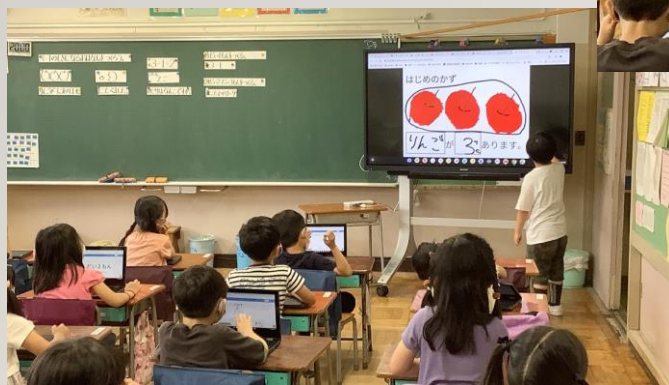


スクールタクトを使って「ひきざんのおはなし」をつくりました。

先生があらかじめ作成しておいたテンプレートに、児童が1ページずつ「はじめのかず」、「へったかず」、「しき」、「こたえ」をかき込んでいきます。タッチパネルに手書きするだけなので、一年生でもらくらくです。

一人一人が作ったものは前の電子黒板に一覧表示されるので、友達のものを見て刺激を受けながらよりよいものにしていきました。

発表も、電子黒板のタッチパネルで操作しながらのshow&tellです。

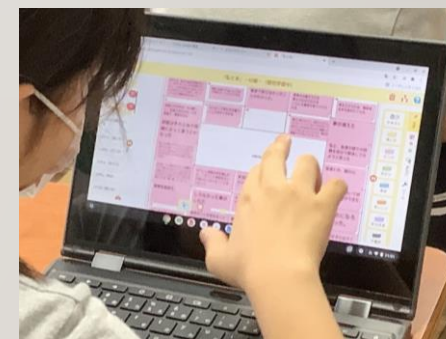


授業における活用例

意見の交流

「私と本」では、ブックトークをしました。
学習の段階で、「自分の好きな本」、「読書による自分の変化」、「これから読んでみたい本」について、コラボノートEXの付箋に書き込み、貼り付けました。テーマごとに色分けされた付箋に書くことで、コラボノートの、色ごとに整理して表示できる機能が使えるので、友達にもらった意見が読みやすくなります。

友達の考えとの共通点や相違点を考え、もう一度考えを深めることで、今後の読書活動をより豊かなものにしていけるように学習しました。

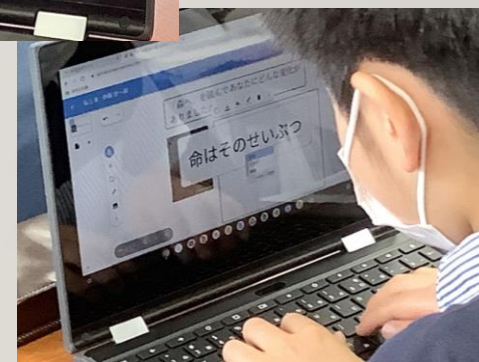
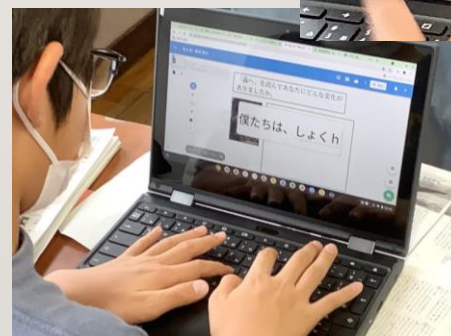
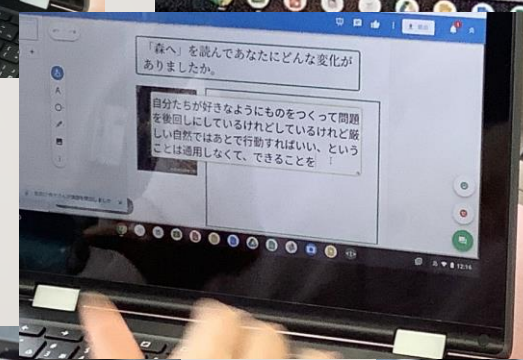
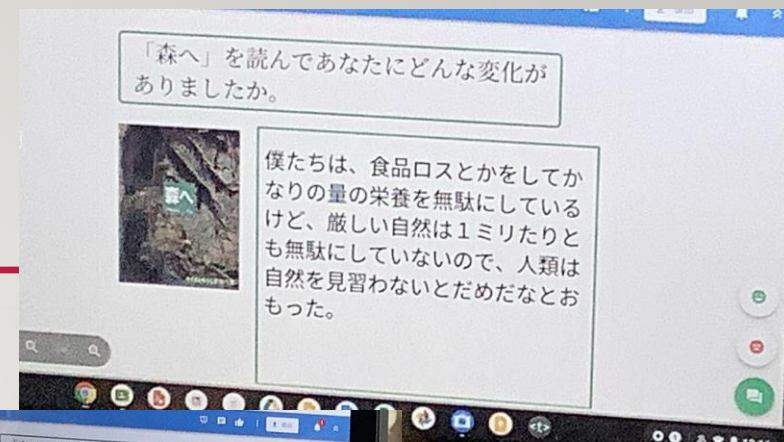


授業における活用例

感想の共有

国語『森へ』を読んで、感じたことをそれぞれがスクールタクトに打ち込み、共有します。

共同閲覧モードを使うことで、友達の感想文を効率的に読むことができるだけでなく、それを読んで気付いたことを、相手にメッセージで伝えることができます。どのような言葉で伝えるとよいのか、互いの学びを深めるやり取りができるよう、学びを深めています。

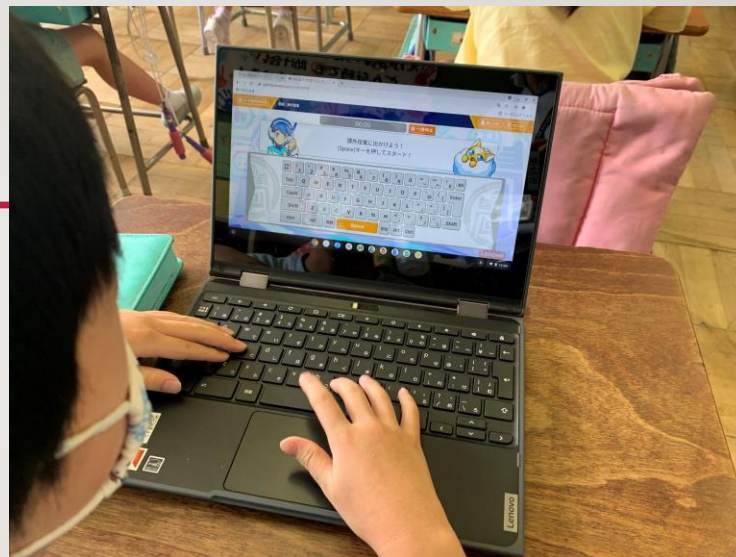


授業における活用例

タイピング練習

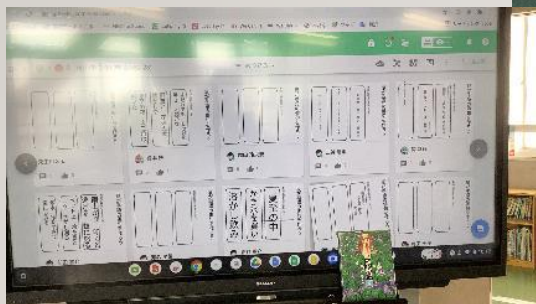
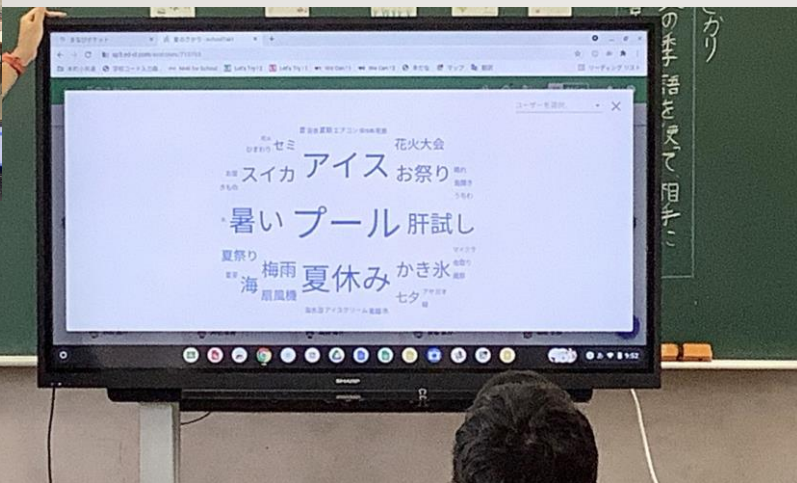
タイピングのスピードが上がると、授業中に自分の考えを入力したり、友達の考えに対してコメントをしたりするなど、意見交流ができるようになります。

始業前や、休憩時間を活用して、アプリを使ってタイピング練習をしています。まなびポケットの中にある「みんなでプログラミング」を使って、楽しみながらスキルを高めています。



授業における活用例

俳句づくり



「夏」から連想される言葉をそれぞれがスクールタクトのワークシートに入力し、ワードクラウド機能を使って並び替えると、それぞれのワークシートの中から、多く出された意見と、少数派の意見を一目で分かるように表示することができます。児童は、一般的な意見と、自分では思いつかなかった言葉を知ることができるので、それを元にして、俳句を作りました。

作った作品は、電子黒板に一覧表示して、共有しました。

授業における活用例

跳び箱運動



首はね跳びの学習で、自分の姿を動画で撮影し、客観的に見ることで具体的に課題をつかめるようにしました。自分の試技を自分で見るができないし、友達に見てもらっても、一瞬で終わってしまうため、自分の出来栄を知ることが難しいのですが、動画で撮った映像を、巻き戻したり、スローで再生したりすることでより明確に自分の姿を知ることができるようになります。

数秒遅れで再生されるアプリを活用することで、さらに効率的に学習を進められます。